

令和4年第1回総務文教常任委員会 要点記録

開閉会日時		令和4年1月24日（月曜日）		開会	9:57		会議場所		別海町議会 委員会室2・3	
				閉会	11:48					
委員の出欠		1 番	横田 保江	出席	6 番	大内 省吾	出席	7 番	木嶋 悦寛	出席
		10 番	小林 敏之	出席	14 番	佐藤 初雄	出席			
出席説明員	総務部	総務部長		総務部次長兼総務課長		総合政策課長		ふるさと応援・情報化推進室長		
		浦山 吉人	出席	入倉 伸顕	出席	寺尾真太郎	出席	松本 博史	出席	
		財政課長		税務課長		防災交通課長		尾岱沼支所長		
		角川 具哉	出席	伊藤 輝幸	出席	麻郷地 聡	欠席	福原 義人	出席	
		西春別支所長		総務課主幹		ふるさと応援・情報化推進室長代理		防災交通課主幹		
		田村 康行	出席	齋藤 陽	欠席	山田 哲哉	欠席	深川 淳一	欠席	
		総務課主査		総合政策課主査		財政課主査		財政課主査		
		池田 大海	欠席	大森 圭介	出席	佐藤 貴也	欠席	戸野 晶雄	出席	
		税務課主査		税務課主査		防災交通課主査		防災交通課主査		
		伊藤 武史	欠席	高橋 克彦	欠席	武田 聖士	欠席	相馬 儀彰	欠席	
		西春別支所主査								
		佐藤 政士	欠席							
	選挙管理委員会	書記長		書記						
		入倉 伸顕	出席	池田 大海	欠席					
	出納室	会計管理者		出納室長						
		中村 公一	欠席	佐々木いづみ	欠席					
	監査委員事務局	監査委員事務局長								
		千葉 宏	欠席							
	教育委員会	教育部長		教育部次長兼生涯学習課長他		指導主幹		指導主幹		
		山田 一志	出席	石川 誠	出席	相澤 要	欠席	稲村 和典	欠席	
		指導参事		学務課長兼学校給食センター長		学校教育課長		中央公民館長		
		吉光寺 勝己	出席	宮本 栄一	出席	池田 卓也	出席	新堀 光行	出席	
		西公民館長		東公民館長		図書館長・郷土資料館長他		学校教育課主幹		
		田村 康行	出席	福原 義人	出席	堺 啓	出席	堀込 美穂	欠席	
		生涯学習課主幹		中央公民館副館長		西公民館副館長		東公民館副館長		
		戸田 博史	出席	小村 茂	欠席	木戸口 誠	欠席	立澤 雅彦	欠席	
		郷土資料館主幹		学務課主査		学務課主査他		学校教育課主査		
		石渡 一人	欠席	佐藤 亮	欠席	大山 晋作	欠席	高津 寛人	欠席	
		生涯学習課主査他		生涯学習課主査		学校給食センター主査		図書館主査		
		上杉 大洋	欠席	恒川 敦史	欠席	平下 奈津子	欠席	吉田 美奈子	欠席	
	委員外の出席		議長	西原 浩			合計		0名	
	事務局職員		主任	小野 絵里			合計		1名	
傍聴者数		一般	0名	報道関係者	0名		合計	0名		

令和4年第1回総務文教常任委員会 要点記録

会議に付した事件及び会議結果など

発言者	会議経過 ※所管毎に議事を行う事情等により議事番号が前後することがある。
委員長 7番 木嶋	9:57 開会
	出席委員5名、委員外1名、会期1日
委員長 7番 木嶋	挨拶
	【総務部所管事務調査】
総務部長 浦山	挨拶及び概要説明
	・新型コロナ関連は、調査内で報告する。 ・1/11から12にかけての大雪警報等により、上風連及び海岸地区で計600戸ほどで長期の停電。北電との連絡体制を構築し、海岸地区に対し、町からつづさに情報提供を行った。 - また、避難所開放し、発電機稼働したうえで、暖を取ることができるよう対応していたが、避難された町民はなし。 - 最終的に床丹地区では一昼夜以上停電が続いたが、大きな混乱はなかった。
委員長 7番 木嶋	議事1 所管事務調査について
	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について
総務部長 浦山	・資料により説明 - 町立別海病院では、1/25からコロナ病床（軽症者用）を設置。 - ワクチンは現在、2000人分を確保しているが、その後はワクチンの供給状況により接種券を発送する形となる。 - 根室市では自宅療養者が90人ほどおり、新薬を使用するなどして、入院に至るケースは少ないとのこと。
委員長 7番 木嶋	質疑
副委員長 14番 佐藤	・感染者の状況把握の現状は。 ・町から個別に行くことはできていない。
総務部長 浦山	町立病院の発熱外来などに相談があった場合、重篤化していなければ簡易検査キットの配付し検査を勧める等の対応をしているが、全国的な感染拡大で現在、簡易検査キットの入手が困難な状況。 ・自宅療養者の第3者の観察についての町の関わり方、また、自宅待機者への食事などの対応は。 ・基本的には保健所の管轄になる。保健所から町に要請があれば対応するが、現状では要請がない段階での積極的な情報把握はできない。 - 保健所の手が回らない状況となった場合は、根室市と同様、自治体の保健師が支援に入るという形になると思われる。
議長 西原	・明日からまん延防止適用がされる予定だが、今後の対策会議・連絡会議はその状況で開催するのか。
総務部長 浦山	・1/20に情報共有・各所管の状況確認のため、庁内対策本部を開催。その時点で、1/25にもまん延防止措置法の適用されるとの確認が取れていたものの、内容までは決定していなかったため、主に状況確認を行った。 - 本日、臨時会終了後に対策会議を開催し、道のまん延防止措置内容に沿った形で町の対応を協議する。
委員 6番 大内	・これからさらに感染者が増えた場合、町民に対し、何かマニュアルなど作成して示さないのか。
総務部長 浦山	・これまでも道・保健所からマニュアルは出ている。 - 症状が表れた時には、町立病院に設置している発熱外来への受診・相談、保健所への連絡を基本としている。 - 道が所管であるため、保健所が保健所から本人聞き取りを行い、指示することになる。 ・情報により噂が飛び交ったりする。公表の仕方に工夫が必要かと思うが。 ・一定の制限の範囲内で、きちんと提示できるものは示していく。病床開設に伴う状況についても、前回と同様に行う。
委員長 7番 木嶋	
総務部長 浦山	

令和4年第1回総務文教常任委員会 要点記録

委員長	7番	木嶋	(2) 総務部所管分令和3年度実施計画事業の成果と今後の取組について ①協働のまちづくり推進事業について ・資料により説明
総合政策課主査		大森	
委員長	7番	木嶋	質疑 ・スタート応援型補助金では、事業実施後、町から何かしらのフォローなどしているか。 ・相談を受けたり、今後の取組についてもヒアリング実施し、評価委員会の中でも今後について意見交換している。 町以外の補助等についても、対象になるものは情報提供している。 ・まちいきき支援型補助金は、上限額以上の事業を行いたいとした場合は、相談に乗ってもらえる余地はあるか。それとも枠内での対応にとどまるのか。 ・既存の枠組み内での対応となるが、各種団体や道の補助に関する情報など、内容に応じて助言などすることは可能。
総合政策課主査		大森	
委員長	7番	木嶋	②地域会館整備事業について ・資料により説明
総合政策課主査		大森	
財政課主査		戸野	質疑 ・清掃不足など日常の管理状況により、建物の改修頻度が高くなることが考えられるが、点検等はしているのか。また、維持管理の考え方は。 ・年1回モニタリング調査を実施している。全館を回り、修繕の必要な箇所を洗い出している。 内容によっては建築住宅課へ修繕の必要性の確認を行い、事業計画に反映している。 基本的に修繕・整備を行っていくつもりだが、町内会の減少や利用頻度の減少もあるため、地域と協議し統合、譲渡等も含めて、整備方針を考えていきたい。
委員長	7番	木嶋	
財政課主査		戸野	・地域から維持が重荷になっているというような相談はあるか。 ・大規模な修繕は町事業として行っており、地域として金銭面での負担はそこまで大きくない。今後も財政状況を踏まえながら整備を進めていく。
委員長	7番	木嶋	
財政課主査		戸野	総務部 10:59 終了 休憩
委員長	7番	木嶋	11:08 再開
教育部長		山田	挨拶 【教育委員会所管事務調査】 挨拶及び概要説明
委員長	7番	木嶋	・12/26及び1/7に成人式挙行。感染防止対策を徹底し、無事終了した。 新成人は式典前後の会食も控えたとのことで、責任ある行動を誇りに思う。 出席者 12/26は40名、1/7は83名。
教育部長		山田	
委員長	7番	木嶋	議事1 所管事務調査について
教育部長		山田	(1) 新型コロナウイルス感染症対策について ・根室市でクラスターが発生するなど危険な状況であり、改めて各学校へ感染対策の再確認と感染対応マニュアルに基づく対策の徹底を通知した。 学校開放事業は当面の間中止することとした。 病院と協議の上、道外を含むスポーツ大会、他振興局管内への宿泊を伴う受験等、その後の登校までの経過観察、簡易検査キットの使用のタイミングなど各学校へ周知し積極的な活用について周知した。 町内で感染拡大の兆しがあれば、各施設の閉鎖や部活動等の自粛などの対応を検討する。
委員長	7番	木嶋	質疑
委員		一同	なし
委員長	7番	木嶋	(3) 町指定文化財保存整備事業について
生涯学習課主幹		戸田	・資料により説明
委員長	7番	木嶋	質疑
			・千島桜の案内看板について、以前、一般質問で樹齢の表記が直っていないとの指摘があったが、その対応は。

令和4年第1回総務文教常任委員会 要点記録

生涯学習課主幹	戸田	・来年度予算で対応する。
委員長	7番 木嶋	(4) 日本遺産整備活用事業について
生涯学習課主幹	戸田	・資料により説明
委員長	7番 木嶋	質疑
		・作成するポスターについて、別海町のテーマは。
生涯学習課主幹	戸田	・具体的にはまだ決まっていないが、構成文化財を取り上げることになる。
		・奥行臼駅通所と集乳缶の写真を使用し、道の歴史、牛乳の歴史を組み合わせる形で検討している。
委員長	7番 木嶋	・メナシカードを協力飲食店が配布するメリットが必要。集客につながる広報の仕方の検討は。
		・ピンバッジはどこで販売するのか。
生涯学習課主幹	戸田	・今年度は町内であればネイチャーセンターで実験的に配布を行っており、その状況をもとに配布場所を拡大するか検討したい。カード目的で来店してもらう方向につなげたい。
		・ピンバッジは公共施設での販売は難しいため、現状は道の駅やネイチャーセンターを検討している。
委員長	7番 木嶋	・最近は様々な種類のカードが出ており、買い求めたりする趣味を持つ方がいるので、その方々に届く戦略を。グッズは情報を知るきっかけになるので、道内施設との連携など、もう少しブランディングを行ってほしい。広く専門家の意見を聞き、予算をきちんと使い、実行してほしい。
委員長	7番 木嶋	その他 全国中学校スケート大会出場者について
教育部次長	石川	・資料により説明
委員長	7番 木嶋	その他 別海町スポーツ選手後援会の支援状況について
教育部長	山田	・午後に開催される臨時会において、後援会への助成を含めた補正予算が上程される。
		現在の後援会の会員数は約250名。前回五輪時の郷選手の後援会は約100名で今回は3地区から選手が出場することもあり、大幅に会員数が伸びた。
		現在の寄付金額は、団体で77団体、約390万円。個人で80名、約80万円。
		引き続き協力願いたい。
委員長	7番 木嶋	閉会挨拶
		11:48 閉会